

社員の健康増進を図り働く意欲向上

明治8年(1875年)5月19日(月)が初めてセメントが製造された日である。それから100周年の1975年(昭和50年)にセメント新聞は同日を「セメント記念日」と制定し、以来毎年「セメント記念日特集」を発行している。本特集では、従業員の労働環境改善を健康増進に向けた取り組みを積極的に推進することによって、快適な職場を実現し、従業員の定着率向上に貢献する「セメント・コンクリート」の取り組みを、特長のある取り組みを行っているセメント・コンクリート関連企業・団体を紹介する。これにより、業界で働く従業員の会社を仕事に対する意欲向上、将来の人材確保等に役立つと期待する。企画した。

新品川商事

5年連続で「健康経営優良法人」認定

健診結果把握し改善

本大洋セメントの100%子会社である新品川商事(大阪府、熊鷹支店の3支店)は、健康経営優良法人認定(2017年度)以来、5年連続で「健康経営優良法人」認定されている。新品川商事は、健康経営の推進に力を入れ、従業員の健康増進に努めている。健康経営の推進は、従業員の健康増進に努めることにより、生産性の向上やコスト削減に貢献する。新品川商事は、健康経営の推進に力を入れ、従業員の健康増進に努めている。健康経営の推進は、従業員の健康増進に努めることにより、生産性の向上やコスト削減に貢献する。



大阪市内の本社が入るビル

セメント記念日 特集

健康経営優良法人

健康経営に取り組む企業に組織された活動「健康経営優良法人」認定制度は、2017年度からスタートした。認定された企業は、従業員の健康増進に努めている。健康経営の推進は、従業員の健康増進に努めることにより、生産性の向上やコスト削減に貢献する。

敦賀は5年連続認定

セメ・コン関連も多数

敦賀セメント(敦賀市)は、5年連続で「健康経営優良法人」認定されている。セメント・コンクリート関連企業も多数認定されている。健康経営の推進は、従業員の健康増進に努めることにより、生産性の向上やコスト削減に貢献する。

体と心を総合的にケア

収益面でも明確に効果

20年度から医師に加え、看護師や薬剤師も加わり、従業員の健康増進に努めている。健康経営の推進は、従業員の健康増進に努めることにより、生産性の向上やコスト削減に貢献する。収益面でも明確に効果が見られる。

明治維新後、新政府は富国強兵を国家目標として、近代産業の移転、即ち殖産興業政策を推進し、国産セメントの生産を奨励した。セメント工場建設は、工部大輔・伊藤博文に随行し、キリンズその他にも、多岐にわたる。セメント工場建設は、工部大輔・伊藤博文に随行し、キリンズその他にも、多岐にわたる。

セメント記念日宣言

セメントの生産を開始したのは明治8年(1875年)5月19日である。セメントの生産は、日本の近代化に大きく貢献した。セメント記念日は、日本の近代化を象徴する日である。セメントの生産は、日本の近代化に大きく貢献した。



荒木社長(前列中央)の左右に今年入社した新入社員2人